

| | | | |
|-----|-----------------|-------|-------|
| 科目名 | 歴史学ⅡA HistoryⅡA | 科目コード | *0461 |
|-----|-----------------|-------|-------|

| | |
|----------|---------------------------------------|
| 学科名・学年 | 全学科・5年（プログラム2年） |
| 担当教員 | 田中 聡（一般教育科） |
| 単位数・区分 | 履修単位科目・1単位・選択 |
| 開講時期・時間数 | 前期，30時間【内訳：講義30】 |
| 教科書 | なし |
| 補助教材 | プリント |
| 参考書 | 鳥海靖著『日本の近代＝国民国家の形成・発展と挫折＝』（放送大学教育振興会） |

【A. 科目の概要と関連性】

明治・大正・昭和の日本の歩みを概観し，21世紀を生きる日本人としての素養を培うことを目的とする。講義に衝撃映像をまじえて基本事項を解説する。

○関連する科目：歴史（1・2年次履修），歴史学Ⅰ（前年度履修），歴史学ⅡB（後期履修）

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の学習・教育到達目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と，成績評価上の重み付け，各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

| 到達目標 | 評価の重み | 学習・教育目標との関連 |
|---|-------|-------------|
| ①明治・大正・昭和の日本の歩みを理解する | 80% | (a1) |
| ②授業で解説された事項について，意見や感想を持ち，それを表明することができる。 | 20% | (a1) |

【C. 履修上の注意】

1・2年次に使用した世界史B・日本史Bの教科書などで，明治・大正・昭和の基本事項を整理しておくことが望ましい。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- 定期試験（70%）【内訳：前期末70%】
- その他の試験（0%）
- レポート（0%）
- その他（30%）【コメントカードの提出】

【E. 授業計画・内容】

● 前期

| 週 | 内容 | 備考 |
|----|---------------------|----------|
| 1 | ガイダンス、新聞で見る歴史問題 | |
| 2 | 近代国家の形成—大日本帝国憲法の制定— | |
| 3 | 日清戦争 | |
| 4 | 日露戦争 | |
| 5 | 「アジアの希望と失望」 | ビデオ |
| 6 | 第一次世界大戦と日本 | |
| 7 | 東と西の狭間で | |
| 8 | 協調外交の挫折 | |
| 9 | 満州事変から国際的孤立化へ | |
| 10 | 「モボ・モガの時代から戦争へ」 | ビデオ |
| 11 | 日中戦争のはじまり | |
| 12 | 太平洋戦争への道 | |
| 13 | 太平洋戦争の展開 | |
| 14 | 日本の敗戦 | |
| — | 前期末試験 | 試験時間：50分 |
| 15 | 「アメリカの敵 日本」 | ビデオ |